

## 箕面消防の沿革

江戸時代	○当時は、代官の支配に属し、雲竜水を備えて、消防活動が行われていた。
明治時代 22年 4月 1日  27年 2月 9日	○町村制施行により箕面村・萱野村・止々呂美村誕生 (各村に腕用ポンプ購入配置)  ○消防組規則公布により箕面村・萱野村・止々呂美村に各消防組が結成された。
大正時代	○科学消防の必要が叫ばれた時代 (蒸気ポンプ1台及び手引動力ポンプ購入)
昭和時代  14年 1月 4月 1日  22年 4月 30日  12月 23日  23年 1月 1日  //	○消防組規則(明治27年以来)が廃止、警防団令が公布された。  ○警防団令施行により箕面村警防団(8分団 320名・ポンプ自動車3台・手引動力ポンプ4台・腕用ポンプ1台)と改称し、戦時下の警備に従事した。  消防行政は、警察行政の一分野として内務省警保局の所管に属していたので、常備消防及び警防団は、警察署長が管理していた。  ○消防団令の公布により警防団を廃止、箕面村消防団を結成発足(9分団 474名・ポンプ自動車3台・手引動力ポンプ4台・腕用ポンプ1台)  ○消防組織法が公布され、警察の管理から完全に独立した市町村の自治体消防制度が確立された。  ○消防団 初代団長に中川半次郎氏就任  ○箕面町制施行  ○大阪府池田消防署から分離し、平尾分団詰所に箕面町消防署設置

23年 2月 5日	○初代消防長兼署長に佐々木重信氏が就任 管轄区域：箕面町、萱野村（人員 9 名、日産大型消防ポンプ自動車 1 台）
3月 7日	○消防組織法施行により自治体消防として町に移管開署 （人員 10 名、消防ポンプ自動車 1 台）
8月 1日	○箕面町・萱野村・止々呂美村合併、これに伴い箕面町消防本部・消防署と改称（署員 15 名・消防団 20 分団・団員 694 名・消防ポンプ自動車 3 台・手引動力ポンプ 9 台・腕用ポンプ 20 台）
10月 30日	○箕面町消防本部（署）庁舎 39.6 m <sup>2</sup> を増築し 92.4 m <sup>2</sup> となる。
24年 12月 20日	○危険物保安条例により庁舎北側に危険物貯蔵庫（9.9 m <sup>2</sup> ）新設 ○消防職員定数 15 名を 27 名に条例改正
12月 24日	○消防団 2 代団長に藤井義一氏就任
25年 1月 1日	○「消防記念日」が制定される。
3月 7日	○消防団員定数 694 名を 550 名に条例改正
29年 3月 18日	○消防団 3 代団長に瀧井璣氏就任
31年 1月 1日	○三島郡豊川村を合併、市制施行、これに伴い箕面市消防本部・消防署と改称、豊川村消防団 4 分団を加えて 24 分団 644 名の定員となる。
12月 1日	
12月 25日	○境界変更により旧豊川村東部を茨木市に編入
32年 4月 1日	○境界変更により茨木市の一部川合地区を箕面市に編入
34年 3月	○大阪府消防協会長から消防団に表彰旗が授与される。
35年 7月 1日	○国家消防本部が「自治省消防庁」と改められた。
9月	○関東大震災（大正 12 年 9 月 1 日）に因んで「防災の日」が制定される。
36年 1月 1日	○消防団 4 代団長に武藤善一氏就任
10月 1日	○消防救急隊規則制定に基づき救急業務を開始
11月 30日	○初代消防長兼署長佐々木重信氏退任
12月 1日	○2 代消防長兼署長に大阪市消防局の角田兼太郎氏が就任
38年 3月	○消防庁長官から竿頭綬を授与される。
37年 7月 3日	○消防庁舎を西小路 91 番地に起工
12月 21日	○消防本部（署）新庁舎竣工 （所在地：箕面市西小路 91 番地）

	敷地面積 1,406.00 m <sup>2</sup> 建築規模 R C 造 2 階建 建築面積 307.52 m <sup>2</sup> 延床面積 497.14 m <sup>2</sup>
12 月 24 日	○消防職員定数 27 名を 35 名に条例改正
39 年 3 月	○大阪府知事から表彰旗を授与される。
8 月 8 日	○箕面市危険物防火協力会結成、箕面市消防本部内に事務局を置く。(初代会長台正彦氏、顧問角田消防長会員数 25)
8 月 18 日	○箕面市少年消防クラブ結成 (クラブ員数 111 名)
40 年 6 月 28 日	○箕面市と茨木市消防相互応援協定締結
7 月 2 日	○箕面市と吹田市消防相互応援協定締結
41 年 4 月 1 日	○消防団 5 代団長に中井貴次氏就任
〃	○箕面市危険物防火協力会を箕面市防火協会と名称変更
42 年 4 月 1 日	○箕面市と豊中市及び池田市の各消防相互応援協定締結
43 年 4 月 1 日	○消防団 6 代団長に浅井正二氏就任
12 月 25 日	○消防職員定数 35 名を 40 名に条例改正
44 年 1 月 31 日	○2 代消防長兼署長角田兼太郎氏退任
2 月 1 日	○3 代消防長兼署長に祝勝巳消防本部次長が就任
4 月 1 日	○箕面市消防団桜ヶ丘分団が解散し、23 分団 624 名となる。
45 年 1 月 1 日	○「人類の進歩と調和」をテーマとした国際的大事業である日本万国博覧会が吹田市千里丘陵で開幕され、会場警備のため、吹田市万国博消防署へ 2 名派遣
3 月 1 日	○万国博覧会会場警備のため吹田市万国博消防署へ 3 名派遣
9 月 16 日	○吹田市万国博消防署派遣者 5 名、派遣を解く。
9 月 22 日	○消防本部 (署) 庁舎車庫 (R C 平家建 66 m <sup>2</sup> ) 増築
10 月 10 日	○箕面市と大阪市航空消防応援協定締結
46 年 4 月 1 日	○消防団 7 代団長に小路庄次郎氏就任
47 年 3 月 1 日	○箕面市と東能勢村 (現豊能郡豊能町) 消防相互応援協定締結 (火災防ぎよのみ)
3 月 15 日	○箕面市消防団が大阪府知事から竿頭綬を授与される。
47 年 4 月 1 日	○消防職員定数 40 名を 47 名に条例改正
〃	○消防本部 (署) 組織機構改革 1 本部 1 署 (2 課 4 係)

<p>12月25日</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>┌ 本部総務課 (庶務係・予防係)</li> <li>└ 本署警備課 (警備第1係・警備第2係)</li> </ul>
<p>49年 2月 1日</p>	<p>○消防職員定数47名を65名に条例改正</p> <p>○消防本部(署)庁舎増築(事務室及び仮眠室75㎡)</p> <p>○箕面市と川西市消防特別相互応援協定締結</p> <p>○消防署東分署竣工</p> <p>(所在地:箕面市栗生外院270番地の4)</p> <p>敷地面積1,639.04㎡</p> <p>建築規模RC造2階建</p> <p>建築面積372.56㎡</p> <p>延床面積514.64㎡</p>
<p>〃</p>	<p>○消防本部(署)組織機構改革</p> <p>1本部1署1分署(2課7係)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>┌ 本部 総務課 (庶務係・予防係)</li> <li>└ 警備課 (警備企画係)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>┌ 本署 (警備第1係・警備第2係)</li> <li>└ 東分署 (警備第1係・警備第2係)</li> </ul>
<p>8月1日</p>	<p>○消防特別救助隊、東分署に発足</p>
<p>50年 3月 4日</p>	<p>○消防庁長官から優良消防機関として、表彰旗を授与される。</p>
<p>7月1日</p>	<p>○消防職員定数65名を85名に条例改正</p>
<p>51年 7月 1日</p>	<p>○消防署西分署竣工</p> <p>(所在地:箕面市瀬川3丁目1番56号)</p> <p>敷地面積2,152.00㎡</p> <p>建築規模RC造2階建</p> <p>建築面積386.57㎡</p> <p>延床面積542.94㎡</p>
<p>51年 7月 1日</p>	<p>○消防本部(署)組織機構改革</p> <p>1本部1署2分署(2課9係)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>┌ 本部 総務課 (総務係)</li> <li>└ 警防課 (予防係・警備企画係)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>┌ 本署 (警備第1係・警備第2係)</li> <li>└ 東分署 (警備第1係・警備第2係)</li> <li>└ 西分署 (警備第1係・警備第2係)</li> </ul>

53年12月15日	○消防署西分署に訓練塔竣工 訓練塔 建築規模 RC造 7階建 20m 建築面積 33.49 m <sup>2</sup> 延床面積 231.00 m <sup>2</sup> 補助訓練塔 建築規模 S造 3階建 9m 建築面積 26.93 m <sup>2</sup> 延床面積 60.00 m <sup>2</sup>
54年1月31日	○3代消防長兼署長祝勝巳氏退任
2月1日	○4代消防長兼署長に磯辺忠夫消防本部次長が就任
4月1日	○消防団 8代団長に垣内佳夫氏就任
〃	○5代消防署長に大橋正治警備司令が就任
56年3月30日	○消防職員定数85名を90名に条例改正
57年4月29日	○箕面市婦人防火クラブ結成(3クラブ139名)
59年3月31日	○4代消防長磯辺忠夫氏退任
4月1日	○5代消防長に大橋正治消防署長が就任
〃	○上浦洋志消防本部次長が6代消防署長を兼任
11月3日	○初代消防長佐々木重信氏昭和59年秋の叙勲受章
60年4月1日	○消防本部・消防署合同庁舎竣工 (所在地：箕面市箕面5丁目11番19号) 敷地面積 3,971.01 m <sup>2</sup> 建築規模 RC造 3階建 一部屋根 S造 建築面積 1,385.63 m <sup>2</sup> 延床面積 3,359.39 m <sup>2</sup>
60年4月1日	{消防通信指令装置導入}
〃	○消防職員定数90名を94名に条例改正
4月29日	○角田兼太郎元消防長昭和60年春の叙勲受賞
5月1日	○箕面市と豊能町消防相互応援協定締結
61年3月31日	○5代消防長大橋正治氏退任
4月1日	○6代消防長に上浦洋志消防本部次長兼消防署長が就任
〃	○消防本部次長兼7代消防署長に木村忠利警防課長が就任
7月19日	○消防本部(署)組織機構改革 1本部1署2分署(4課12係)

<p>62年10月18日</p> <p>63年12月26日</p>	<p>           本 部 総 務 課 (総務係)            警 防 課 (予防査察係・設備指導係・            警備企画係)            本 署 警備第1課 (警備第1係・救急第1係)            警備第2課 (警備第2係・救急第2係)            東分署 (警備第1係・警備第2係)            西分署 (警備第1係・警備第2係)         </p> <p>○箕面市消防団坊島分団「第31回大阪府消防操法訓練大会」優勝</p> <p>○東分署の前面道路拡幅に伴い86.7㎡を都市整備部へ移管し、敷地面積1,552.34㎡となる。</p>
<p>平成時代</p> <p>元年 4月 1日</p> <p>2年 4月 1日</p> <p>2年 4月 29日</p> <p>2年 9月 2日</p> <p>3年 4月 1日</p> <p>〃</p> <p>4年 4月 1日</p> <p>4年 4月 4日</p>	<p>○豊能町消防相互応援協定に関する覚書締結 (止々呂美地域の救急業務応援要請について)</p> <p>○消防職員定数94名を97名に条例改正</p> <p>○祝勝己元消防長平成2年春の叙勲受賞</p> <p>○箕面市消防団栗生分団「第34回大阪府消防操法訓練大会」において優勝</p> <p>○米沢範一総務課長が8代消防署長に就任</p> <p>○消防本部(署)組織機構改革</p> <p>1本部1署2分署(4課1室13係)</p> <p>           本 部 総 務 課 (総務係)            予 防 課 (設備指導係・予防査察係)            本 署 (警備企画係)            警備第1課 (警備第1係・救急第1係)            警備第2課 (警備第2係・救急第2係)            通信指令室 (通信係)            東分署 (警備第1係・警備第2係)            西分署 (警備第1係・警備第2係)         </p> <p>○消防職員定数97名を100名に条例改正</p> <p>○消防本部(署)組織機構改革</p>

	<p>1 本部 1 署 2 分署 (4 課 1 室 13 係)</p> <p>本 部 総 務 課 (総務係) 予 防 課 (設備指導係・予防査察係)</p> <p>本 署 (警備企画係) 警備第 1 課 (警備第 1 係・救急第 1 係) 警備第 2 課 (警備第 2 係・救急第 2 係) 通信指令室 (通信係)</p> <p>東 分 署 (警備第 1 係・警備第 2 係)</p> <p>西 分 署 (警備第 1 係・警備第 2 係)</p>
4 年 7 月 17 日	○6 代消防長上浦洋志氏退任
〃	○8 代消防署長米沢範一氏退任
4 年 8 月 1 日	○7 代消防長に梶田功総務部長が就任
〃	○木村忠利次長兼総務課長が消防本部次長兼 9 代消防署長に就任
5 年 4 月 1 日	○消防職員定数 100 名を 106 名に条例改正
5 年 4 月 7 日	○中尾揮一通信指令室長が 10 代消防署長に就任
5 年 4 月 29 日	○垣内団長藍綬褒章受章
6 年 4 月 15 日	○7 代消防長梶田功氏退任
〃	○8 代消防長に坂口征男健康福祉部長が就任
〃	○消防本部 (署) 組織機構改革
	<p>1 本部 1 署 2 分署 (5 課 1 室 12 係 1 担当)</p> <p>本 部 総 務 課 (総務係) 予 防 課 (設備指導係・予防査察係) 警 備 課 (警備企画係)</p> <p>本 署 警備第 1 課 (警備第 1 係・救急第 1 係) 警備第 2 課 (警備第 2 係・救急第 2 係) 通信指令室 (通信担当)</p> <p>東 分 署 (警備第 1 係・警備第 2 係)</p> <p>西 分 署 (警備第 1 係・警備第 2 係)</p>
6 年 12 月 12 日	○8 代消防長坂口征男氏退任
〃	○9 代消防長に木村忠利消防本部次長が就任
〃	○11 代消防署長に甲良一起参事が就任
8 年 4 月 1 日	○消防団 9 代団長に中井博幸氏就任
〃	○消防職員定数 106 名を 107 名に条例改正

<p>9年 7月 1日  " "</p>	<p>○12代消防署長に高崎和男総務課長が就任  ○消防本部（署）組織機構改革（係制廃止）  1本部1署2分署（5課1室12グループ）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本 部 総 務 課</li> <li>予 防 課（設備指導G・予防査察G）</li> <li>警 備 課</li> <li>本 署 警備第1課（警備第1G・救急第1G）</li> <li>警備第2課（警備第2G・救急第2G）</li> <li>通信指令室（通信第1G・通信第2G）</li> <li>東 分 署 （警備救急第1G・警備救急第2G）</li> <li>西 分 署 （警備救急第1G・警備救急第2G）</li> </ul>
<p>11年 2月 9日</p>	<p>○箕面市消防団が（財）日本消防協会から特別表彰「まとい」を受章する。</p>
<p>11年 4月 1日</p>	<p>○消防本部（署）組織機構改革（総務担当設置）  1本部1署2分署（1担当5課1室12グループ）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本 部 総 務 担 当</li> <li>総 務 課</li> <li>予 防 課（設備指導G・予防査察G）</li> <li>警 備 課</li> <li>本 署 警備第1課（警備第1G・救急第1G）</li> <li>警備第2課（警備第2G・救急第2G）</li> <li>通信指令室（通信第1G・通信第2G）</li> <li>東 分 署 （警備救急第1G・警備救急第2G）</li> <li>西 分 署 （警備救急第1G・警備救急第2G）</li> </ul>
<p>11年 11月 3日</p>	<p>○磯辺忠夫元消防長が平成11年秋の叙勲受章</p>
<p>12年 4月 1日</p>	<p>○13代消防署長に中尾揮一消防本部次長が就任</p>
<p>13年 2月 9日</p>	<p>○箕面市消防団が（財）日本消防協会から竿頭綬を授与される。</p>
<p>13年 4月 1日</p>	<p>○9代消防長木村忠利氏退任</p>
<p>" "</p>	<p>○10代消防長に高崎和男消防本部次長が就任</p>
<p>" "</p>	<p>○14代消防署長に中村知警備第1課長が就任</p>
<p>" "</p>	<p>○消防本部（署）組織機構改革  1本部1署2分署（1担当5課1室2グループ）</p>



	<p>本 部 総務担当  総務課  予防課  警備課</p> <p>本 署 警備第1課  警備第2課  通信指令室（通信第1G・通信第2G）</p> <p>東分署  西分署</p>
14年 3月 24日	○箕面市消防団が大阪府知事から表彰旗を授与される。
14年 3月 31日	○10代消防長高崎和男氏退任
14年 4月 1日	○11代消防長に矢野広二消防本部次長が就任
14年 9月 1日	○箕面市消防団半町分団「第46回大阪府消防操法訓練大会」優勝
16年 3月 21日	○箕面市消防団が（財）大阪府消防協会から表彰旗を授与される。
16年 4月 1日	○消防団 10代団長に豊田茂実氏就任
〃	○15代消防署長に中村保警備課長が就任
17年 4月 1日	○消防本部（署）組織機構改革 1本部1署2分署（5課1室1担当）
	<p>本 部 総務課  予防課  警備課</p> <p>署 企画調整・高度救急担当  警備第1課 東分署  西分署  警備第2課 東分署  西分署</p> <p>通信指令室</p>
18年 3月 15日	○消防通信指令装置更新整備 〔高機能消防指令センターHA3000Ⅱ型〕
18年 4月 1日	○消防職員定数107名を111名に条例改正
18年 4月 29日	○元副団長 平井甚一氏 平成18年春の叙勲受章（瑞宝単光章）
18年 11月 3日	○元消防司令 平井一博氏 平成18年秋の叙勲受章（瑞宝単光章）

